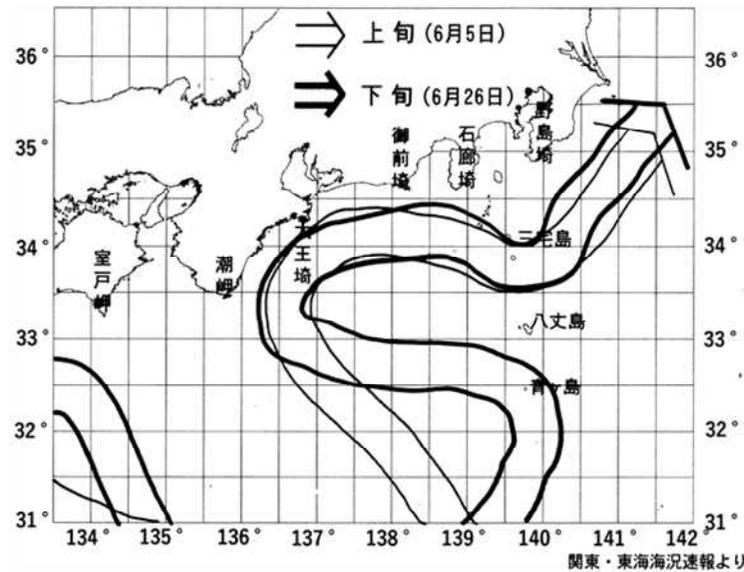


# 漁海況月報

令和5年6月1日

No. 6 ~6月30日

静岡県水産・海洋技術研究所  
(電話 054-627-1815)  
静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場  
(電話 0558-22-0835)



6月定地水温の旬平均値(°C) (下段は平年値\*からの偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	20.7	19.9	20.1	20.8	21.3	20.4
	0.5	-0.1	0.3	0.4	0.4	-0.4
中旬	21.9	21.2	21.2	21.8	22.5	21.9
	1.1	0.7	0.9	0.7	0.9	0.5
下旬	22.9	22.4	22.4	22.9	23.3	22.7
	1.5	1.6	1.9	1.1	1.0	0.7
月	21.8	21.2	21.3	21.8	22.4	21.7
	1.0	0.8	1.1	0.7	0.8	0.3

\*平年値：過去30年(平成3年~令和2年)平均値

## 【黒潮流路】

6月を通じてA型で、上旬は大王崎沖で、中旬~下旬は潮岬沖で大きく離岸した後、遠州灘沖まで北上する流路となった。

上旬は大王崎沖で大きく離岸し、大王崎沖30.5°N付近から遠州灘沖34.0°Nまで熊野灘に近づきながらS字状に北上した後東進し、三宅島~八丈島間を通過して北東に流去した。暖水波及が一時的に石廊崎沖の黒潮北縁から大島西水道に向けて見られた。

中旬は潮岬沖で大きく離岸し、潮岬沖30.0°N付近から遠州灘沖34.0°Nまで熊野灘に近づきながらS字状に北上した後東進し、三宅島~八丈島間を通過して北東に流去した。暖水波及が遠州灘沖の黒潮屈曲部から熊野灘、遠州灘に向けて、暖水波及が一時的に石廊崎沖の黒潮北縁から大島西水道に向

けて見られた。

下旬は潮岬沖で大きく離岸し、潮岬沖30.0°N付近から遠州灘沖34.0°Nまで熊野灘に近づきながらS字状に北上した後東進し、三宅島付近を通過して北東に流去した。

## 【沿岸域水温】

上旬の水温は伊東で「やや高め」、それ以外の地点で「平年並み」であった。中旬は全ての地点で「やや高め」であった。下旬は雲見、沼津、焼津で「やや高め」、伊東、稲取、下田で「高め」であった。

## 【竿釣カツオ】

6月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは117.5トンで前年同月(181.2トン)の65%であった。平均単価は429円/kgで前年同月(392円/kg)を上回った。

漁場は33-34°N、138-139°Eの伊豆諸島北部海域などで、御前崎港に水揚げされたカツオの尾叉長組成は小(尾叉長49cm)が主体であった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
R5年6月上旬	30.1	8	3.8	466
中旬	38.0	17	2.2	482
下旬	49.4	13	3.8	366
R5年6月計	117.5	38	3.1	429
R4年6月計	181.2	44	4.1	392
R3年6月計	247.6	61	4.1	169

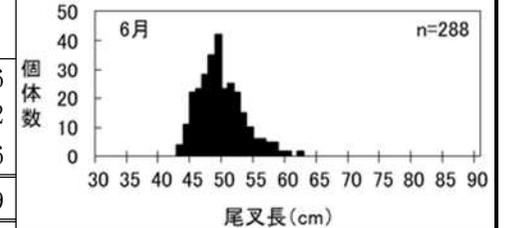


図 御前崎港で測定したカツオの尾叉長組成

## 【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚げ量は182.5トンで、前年(159.4トン)の1.1倍、平年(389.2トン)の47%であった。また、1か統あたりの水揚げ量は26.1トン(前年:22.8トン、平年:55.6トン)であった。水揚げ量の多い漁場は、北川漁場(47.8トン、さば類、マアジ、シイラ)、次いで伊豆山漁場(40.3トン、マイワシ、マアジ、ブリ)であった。

多獲された魚種の水揚げ量は次頁(表)のとおりで、さば類は63.2トンで、前年比1.2倍、平年比62%であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは0.7トンで、前年比14%、平年比4%であった。ゴマサバは62.5トンで、前年比1.4倍、平年比69%であった。マアジは41.1トンで、前年比2.0倍、平年比62%であった。マイワシは15.7トンで、前年比391.9倍、平年比56%であった。ブリは12.0トンで、前年比30%、平年比62%で、銘柄わらさが主体であった。シイラは8.8トンで、前年比64%、平年比44%であった。

多獲された魚種の主な漁場は、次頁(表)とおりで、各漁場の水揚げ量の割合は、さば類では北川漁場が59%(37.4トン)、マアジでは伊豆山漁場が27%(11.2トン)、古網漁場が24%(9.8トン)、赤沢漁場が17%(7.1トン)、マイワシでは伊豆山漁場が82%(12.9トン)、古網漁場が18%(2.8トン)、ブリでは伊豆山漁場が40%(4.8トン)、川奈漁場が25%(3.1トン)、古網漁場が19%(2.3トン)、シイラでは古網漁場が28%(2.5トン)、北川漁場、伊豆山漁場が24%(2.1トン)であった。

\*平年：昭和57年~令和4年の平均値

多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
さば類	63.2	1.24	0.62	北川
マアジ	41.1	1.95	0.62	伊豆山、古網、赤沢
マイワシ	15.7	391.89	0.56	伊豆山、古網
ブリ	12.0	0.30	0.62	伊豆山、川奈、古網
シイラ	8.8	0.64	0.44	古網、北川、伊豆山

【サバたもすくい網】

小川港所属の棒受網漁船は月を通じてたもすくい漁業主体で操業し、漁場は月を通じて利島に形成された。水揚量はマサバ1トン(前年同月11%)、ゴマサバ206トン(前年同月83%)であり、1隻あたり水揚量はマサバ0.03トン(前年同月6%)、ゴマサバ7.6トン(前年同月62%)であった。

1kgあたり平均単価は、マサバ(171円)は前月(153円)を上回り、前年同月(191円)を下回った。ゴマサバ(180円)は前月(170円)、前年同月(117円)を大きく上回った。

ゴマサバの体長組成は33cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類(たもすくい漁業)水揚量

期間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		平均単価(円/kg)		漁場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R5年6月上旬	1	50	3	6	0.1	8.4	175	182	利島
中旬	0	96	6	12	0.0	8.0	160	178	利島
下旬	0	60	5	9	0.0	6.6	162	183	利島
R5年6月計	1	206	14	27	0.0	7.6	171	180	利島
R4年6月計	9	247	11	20	0.5	12.3	191	117	利島、大島千波
R3年6月計	235	100	11	27	8.7	3.7	124	115	利島北部

\*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

【サクラエビ船曳網】

6月の出漁日数は3日、水揚量は24.6トンであった(前年同月の出漁日数は3日、水揚量は24.8トン)。主漁場は田子の浦沖～蒲原沖であった。水揚げされたサクラエビは体長40mm付近にモードがあった。

なお、今春漁は6月7日夜の操業で終漁し、総水揚量は308.9トン、出漁日数は20日であった。

サクラエビ水揚量

期間	水揚量(トン)	日数	漁場
R5年6月計	24.6	3	田子の浦沖～蒲原沖
R4年6月計	24.8	3	富士川沖～興津川沖
R3年6月計	10.2	1	由比沖
R2年6月計	0.9	1	相良沖

【シラス船曳網】

県内主要6港における1日1か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が193kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が307kgであった。平均水揚量は266kgで前年同月(347kg)の76.7%、平年同月(過去5か年平均:327kg)の81.3%であった。また、総水揚量は555.4トンで前年同月(565.5トン)の98.2%、平年同期(578.0トン)の96.1%で前年、平年並であった。平均単価は1,586円/kgで前年同月(641円/kg)の2.5倍、平年同月(840円/kg)の2.0倍で前年同月、平年同月を大きく上回った。

主要6港のシラス水揚量(主要6港)

漁港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)	
遠州灘	新居	60.6	16	183	331	1,291
	舞阪	223.2	16	642	348	1,569
	福田	111.4	16	432	258	1,452
	御前崎	18.2	11	91	200	1,789
駿河湾	吉田	56.4	13	337	167	1,921
	用宗	85.6	19	399	215	1,754
R5年6月計	555.4	91	2,084	266	1,586	
R4年6月計	565.7	78	1,629	347	641	
R3年6月計	486.1	95	2,025	240	797	

\*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

\*平年:過去5か年(平成30～令和4年)平均値

【まき網(いわし類)】

マイワシの水揚量は、沼津港では73.3トン(前年同月192%、平年同月比39%)、小川港では1.8トン(前年同月比429%、平年同月比5%)、伊東港、静浦港では水揚げがなかった。カタクチイワシは、沼津港では0.3トン(前年同月1%、平年同月比1%)、伊東港、静浦港、小川港では水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは15.7トン、カタクチイワシは5.8トンであった。

\*平年:過去5か年(平成30～令和4年)平均値

【調査船駿河丸の動向】

6月6日	～	6月8日	地先定線観測調査	(3日間)
6月15日	～	6月16日	サクラエビ音響調査	(2日間)
6月19日	～	6月22日	カツオ魚群分布調査	(4日間)
6月27日			BISHOP 深海調査	(1日間)
6月28日	～	6月29日	サクラエビ卵幼生調査	(2日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

